

千葉県男女共同参画推進連携会議 女性活躍推進特別部会 【千葉県】

総事業費	528 千円
交付金額	264 千円

地域の実情と課題

- ・千葉県の人口は、今後減少していくことが見込まれている。
- ・女性は出産・子育て期にいったん職場を離れる傾向がある（M字カーブ）。
- ・男性も女性も仕事と家庭生活など、バランスのとれたライフスタイルを希望しているが、理想と現実のギャップがある。

これらのことから、今後到来する人口減少社会において、経済社会を活性化するためには、女性をはじめとする多様な人材の活躍が必要である。

事業の特徴

【第1回女性活躍推進特別部会（第1回産業部会と合同で開催）】
女性活躍推進特別部会構成団体及び産業部会構成団体から、関心のあるテーマについての意見を取りまとめ、それに基づいて講演会等を開催。

【第2回女性活躍推進特別部会（全体会と合同で開催）】
人生のあり方の変化や、国の法制度の動向、企業の取組などについて理解を深め、男女共同参画の実現に向けて、どの様に取り組んでいくのか考える契機とすることを目的に、「人生100年時代の男女共同参画」をテーマとしたシンポジウムを開催。

事業の効果

参加者アンケートにおいて95%の人が「非常に満足」または「満足」と回答した。
また、講演に加え、パネルディスカッションでは各方面からお話をお聞きし、具体的なイメージや今後の対応における気づきを得られる機会になった。

目的・目標

【目的】 本県における女性の活躍を効果的かつ円滑に推進するため、女性活躍推進法に基づく協議会として設置した「女性活躍推進特別部会」において、構成団体の有用な取組について、情報共有を図るとともに、女性活躍支援策やワーク・ライフバランスの普及促進等についての取組を推進する。

【目標】 ①参加者合計合計100人以上
②参加者満足度80%以上

【実績】 ①参加者合計85人
②参加者満足度95%

連携団体

【千葉県男女共同参画推進連携会議 女性活躍推進特別部会】

- ・千葉県（男女共同参画課・雇用労働課）
- ・千葉労働局 ・市長局 ・町村会 ・経済団体12団体

今後の課題

・仕事と家庭生活の両立のために必要と思う環境整備について、県民に調査した結果、「男女が共に家事等の家庭的責任を負うという意識改革」が、最も多いこと等から、女性の活躍を支える男性の家事・育児等への参画機会の創出に向け、「家庭的責任への意識改革」に取り組む必要がある。

人生100年時代の男女共同参画シンポジウム(全体会・第2回女性活躍推進特別部会)の開催
(令和4年11月26日)

人生のあり方の変化や、国の法制度の動向、企業の取組などについて理解を深め、男女共同参画の実現に向けて、どの様に取り組んでいくのか考える契機とすることを目的に、「人生100年時代の男女共同参画」をテーマとしたシンポジウムを開催した。パネルディスカッションでは各方面からお話をお聞きし、具体的なイメージや今後の対応における気づきを得られる機会になった。

- ①主催 千葉県、千葉県男女共同参画推進連携会議
- ②ZOOMウェビナーによるオンライン開催
- ③内容 第1部 講演「人生100年時代の男女共同参画」
 <講師> 山田 昌弘 氏 (中央大学文学部教授)
 第2部 パネルディスカッション
 <パネリスト>
 鈴木 陽子 氏 (リングロー株式会社長南集学校校長)
 齊藤 正宏 氏 (ちーぱば会 代表)
 <コーディネーター>
 山田 昌弘 氏 (中央大学文学部教授)



第1回産業部会・女性活躍推進特別部会の開催(令和4年7月28日)

女性活躍推進特別部会構成団体から、関心のあるテーマについての意見を取りまとめ、それに基づいて講演会等を開催した。

- ①主催 千葉県、男女共同参画推進連携会議
- ②ZOOMウェビナーによるオンライン開催
- ③内容 第1部 令和3年度千葉県男女共同参画推進事業所表彰 千葉県知事賞受賞事業所の取組発表
 <発表者> 岡崎 美佳 氏(千葉信用金庫 人事部 女性活躍推進室長)
 第2部 講演「ハラスメントのない環境 やってはいけない3つのこと」
 <講師> 坂本 真理子 氏(一般財団法人女性労働協会認定講師)